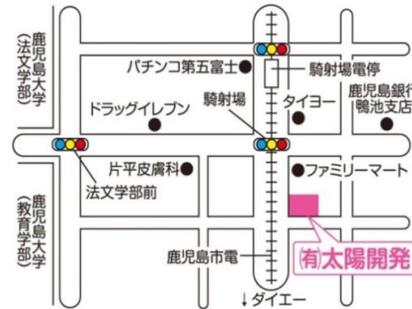


SUNSHINE

第 72号 2013年 6月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市鴨池2丁目1-12 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発 検索 クリック!!

★3月から入社しました賃貸担当の福崎研志と申します。研志と書いて「ケンスケ」と読みます。小学校からずっと野球をしてまして、いまでも時間がある時は草野球に参加してます。釣りもよく行きますが、滅多に釣れません(涙)どうやったら釣れるのか教えて下さい。(笑)私は、不動産業界は初めてなので、先輩方、家主様、お客様にご迷惑をかける事も多々あるかと思いますが末永く宜しくお願い致します！

☆4月から入社しました売買担当の徳留寛崇と申します。私も不動産業界は初めてですが、現在の事だけではなく、お客様の将来の事まで一緒に考え、お客様に喜んで頂けるマイホーム探しをしたいと思います。幼い頃から中学まで父から空手を教わり、高校ではハンドボール、今はサーフィンにはまっています♪色が黒いのが私なので、見かけたら声をかけて下さい(笑)お客様から信頼して頂けるように心がけて頑張りますので、宜しくお願い致します。

★新入社員の西園将太と申します。4月から事務として頑張っております。趣味はドライブと音楽です。休日は音楽を聴きながらお出かけを楽しみます♪まだまだ未熟者ですが、どうぞ宜しくお願い致します。ブログの更新を最近任されています！ブログも是非、読んで下さい♪



福崎



徳留



上西園

新入社員紹介

当社の新しい仲間達です♪

～守屋の遺跡探訪～ ⑦ 仙巖園～

4月号発行の守屋遺跡探訪の続きです(笑)
 今回20数年ぶり『仙巖園』に訪れたわけですが、全く覚えてないので初めての感覚でした(笑)入口を入るとまずは「島津義弘公」が使用していた鎧兜がお出迎えてくれます♪その他にも「鉄製150ポンド砲」も置いてあり、初っ端からワクワクしました(笑)園内を歩いていると奇声が聞こえてきたので声の方へ行ってみると示現流のビデオでした(笑)約4分のビデオを見た後、奥へ進むと御殿があり、そこからはガイドさんが中を案内してくれました。ガイドさんの話で驚いた事は、この御殿は75部屋あった事と、最大で100人以上の人が生活していたという事でした！建物は、私の身長が高すぎるのか、昔の人が小さかったのか天井等が低く、頭を下げないと通れない所もありました。中の写真はほとんど撮れなかったのが残念でしたが、当時の部屋を忠実に再現しており、タイムスリップしたみたいで楽しかったです♪御殿をみた後、園内を回っていると階段が・・・。「小さい頃登ったのはこれか！」と心の中でつぶやき、子供でも行けるのならと思いついて進んで行きました・・・が、登っても登ってもゴールが見えません(涙)息を切らせ、だんだん重くなっていく足を頑張って前へ出して、途中でご年配の方を追い越して、やっと到着しました(涙)ただ、到着して景色を見たら疲れがぶっ飛びました！まさに絶景でした！！下りは下りで、以外と疲れましたが、行きに追い越した方と少しお話をした素敵な出会いが生まれました(笑)その後、鶴嶺神社で参拝。この鶴嶺神社は元々、現在の照国町にあった「竜尾神社」を1873年に忠重公が現在の地に移され、神社名を鶴嶺神社へと改称されたそうです。西南戦争の時には島津家は中立を保っていたにもかかわらず、当神社は官軍の強奪被害に遭い、多数の貴重な文化財を失ったのですが、これらの宝物の消息は現在に至るまで不明であり、鹿児島県が文化財過疎県である原因の一つとなっているそうです。今度から「なんでも〇定団」をしっかり観て、鹿児島県の文化財が展示されてないか確認しないとイケないですね(笑)その後、隣にある尚古集成館を見てから仕事があったので帰りました。鹿児島の歴史を肌で感じられて改めて鹿児島人でよかったと思いました♪夏場の火山灰は厄介ですけどね(笑)今回も私の自己満話を最後まで読んで頂きましてありがとうございます。まだまだ書きたい事がありました。今回はここまでにします。また機会があれば書きたいと思います。

P.S.今回は午後から仕事があった為、スーツで見て回ったのですが、スーツでの参拝はおすすりできません(笑)



JAPANESE DINING ISM WORLD

鹿児島市荒田2丁目42-12

TEL 099-206-1137

営業時間 17:30～翌1:00

今回ご紹介させていただきますお店は今年の3月にオープンしました「ISM WORLD(イズム ワールド)」さんです。場所は騎射場電停から騎射場公園の方へ歩いて2分の所にあります。カウンター席とテーブル席、掘りごたつ式の座敷で30名まで入れます。店内は落ち着いた雰囲気の中でゆっくりお食事を楽しめる空間となっております。オーナーの村田様は加世田で10年前にISMをオープンさせ、今回のお店で3店舗目だそうです。1店舗目は和食、2店舗目は炭火焼、そしてISM WORLDは和をメインとしながら、和にこだわりすぎず、旬の食材をいろいろな形で提供したいと思い、出店しました。今回、鹿児島市内に店を構えた理由としては、以前から市内に進出したいと強く思っていたらしく、ちょうど騎射場のいい場所に空テナントがあったので、「ここしかない！」と思いオープンさせたそうです。「旬の食材を～」との事だったので、今の時期は何がオススメですかと聞いたところ、「とうもろこしの天婦羅」、「桜エビ」、「アユの塩焼」・・・どれも食べてない・・・(涙)次に来た時は、まず「オススメ」を聞いてから注文します！私の中のオススメは「地鶏の皮ボン酢」、「ホッケ塩焼」、「玉子焼き」の3品です！私は今回で3回目ですが、実は3回ともこの3品は頼んでるんです(笑)その他にも今回は濃厚な「地鶏のレバ刺」や、天つゆ・塩・しょうゆのどれでもおいしい「なっとうかき揚げ」も頼みました♪どれも全部の写真を載せれないのが残念です。ここのお店で驚いた事が2つあります。まず1つ目は、初めてこのお店に来た時に知り合いの社長さんが食事にお来られて、話を聞いたらオーナーと同級生との事！2つ目は私の父の同級生でお医者さんをしている人がよく加世田のお店に出没するという事です。世の中狭いですね・・・最後に村田様から一言！

「その日の朝仕入れた新鮮な魚を使った魚介料理など、日替わりで様々な料理を提供しています。是非、お越し下さい。」今回も美味しい料理をありがとうございます♪

P.S.今度はカウンターでいろいろなお話を聞かせて下さい(笑)



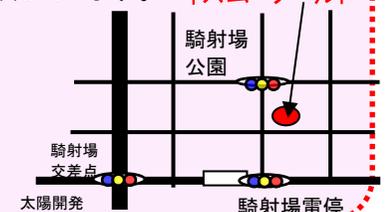
ホッケの塩焼



玉子焼き



皮ボン酢



今月の一冊 No.71 ずっとお城で暮らしてる

シャーリン・ジャクスン

1910年代、アメリカのサンフランシスコで生まれ、カリフォルニアで少女時代を過ごした。1940年に大学を卒業、文筆家のスタンリー・エドガー・ハイマンと結婚した。その後、雑誌に短編小説を発表し始め、48年に「ニュー Yorker」誌に掲載された傑作短編『くじ』が話題になる。私生活では四人の子供の母親として家事をこなし、コミカルな育児ノンフィクション『野蛮人との生活』なども書いたが、やはり恐怖小説の作品が多く、生涯に長編を6本、短編集を4冊刊行している。1965年、ヴァermont州にて40代で死去した。

訳:市田 泉

1966年生まれ。お茶の水女子大学教育学部卒業。英米文学翻訳家。共訳書にハミルトン『反対進化』『眠れる人の島』、スタージョンほか『地球が静止する日』がある。



あたしはマリ・キャサリン・ブラックウッド。ほかの家族が殺されたこの屋敷で、姉のコニーと暮らしている…。悪意に満ちた外界に背を向けて、空想が彩る閉じた世界で過ごす幸せな日々。しかし従兄チャールズの訪問が、美しく病んだ世界に大きな変化をもたらそうとしていた。「魔女」と呼ばれた女流作家が、超自然的要素を排し、少女の視線から人間心理に潜む邪悪を描いた傑作。

まずタイトルが良いですね。『ずっとお城で暮らしてる』なんて！これは、うんと乙女チックなお話なのか、それともうんと怖いお話なのか…。作者紹介、ブックカバーの内容紹介を見ればすぐに謎は解けますよね。うんと怖いお話でした。ただ、ストーリーの謎はそう簡単には解けません。厳密には、最後まで謎は解けず、なんだか薄ら恐ろしい感じがいつまでも残ります。反面、乙女チックな要素もあります。大きなお屋敷に二人だけで暮らす美人姉妹(美人は姉だけなのかな?)植物に詳しくて、お料理上手で心優しい姉が、想像力豊かで自分の殻に閉じこもった妹をいたわりながら生活している、というのはなかなか乙女チックですよ。最初読んだ時は恐ろしさが際立っている印象でしたが、何度も読む(何度も読みたくなるのです)とだんだん私も彼女たちの世界の住人になってしまい「お城」に閉じこもって、閉ざされた小さな幸せに満足してしまいそうになります。それこそが、恐ろしいことだと思います。もうひとつこの作品に魅かれるところは、文章の美しさ、巧みさです。これは、シャーリン・ジャクスンの力量なのか、訳者の市田泉女史の力か?多分、両方ですね。特に飼いの猫のジョナスの描写と皆の話言葉、中でも妹リキットの話し方が絶妙です。この恐ろしくて乙女チックなお城の中へ是非あなたも迷